【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【公表番号】特表2013-534410(P2013-534410A)
【公表日】平成25年9月5日(2013.9.5)
【年通号数】公開・登録公報2013-048
【出願番号】特願2013-510459(P2013-510459)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/113　(2010.01)
Ｃ１２Ｑ　 1/68　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　 1/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/711　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7105　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/76　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/574　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＧ
Ｃ１２Ｑ　 1/68　Ａ
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ
Ｃ１２Ｑ　 1/02
Ａ６１Ｋ　31/711
Ａ６１Ｋ　31/7105
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｋ　35/76
Ａ６１Ｐ　35/00
Ｇ０１Ｎ　33/574　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成26年5月19日(2014.5.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
配列番号：２、５、６、７、８、９、１０、１４、１５もしくは１６の配列またはその断片もしくは誘導体を含むアンチセンスオリゴヌクレオチドを腫瘍細胞に提供し、アンチセンスオリゴヌクレオチドが腫瘍細胞におけるＤＲＲの発現を減少させることを含む、腫瘍細胞におけるＤＲＲの発現を減少させる方法。
【請求項２】
配列番号：２、５、６、７、８、９、１０、１４、１５もしくは１６の配列またはその断片もしくは誘導体を含む、腫瘍細胞におけるＤＲＲの発現を減少させるためのアンチセンスオリゴヌクレオチド。
【請求項３】
配列番号：２、５、６、７、８、９、１０、１４、１５もしくは１６の配列またはその

断片もしくは誘導体をコードする配列、または腫瘍細胞におけるＤＲＲの発現を減少させるのに好適なアンチセンスオリゴヌクレオチドをコードするＤＮＡを含むＤＮＡ分子を腫瘍細胞に提供することを含む、腫瘍細胞におけるＤＲＲの発現を減少させる方法。
【請求項４】
前記ＤＮＡ分子がアンチセンスオリゴヌクレオチドの産生に適している発現ベクター中に挿入される、請求項３に記載の方法。
【請求項５】
配列番号：２、５、６、７、８、９、１０、１４、１５もしくは１６の配列またはその断片もしくは誘導体をコードする配列を含む発現ベクター。
【請求項６】
請求項２に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドまたは請求項２に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドをコードするベクターを含む、癌を治療するための医薬組成物。
【請求項７】
請求項２に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドまたは請求項２に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドをコードするベクターを含む、癌の進行を遅らせるための医薬組成物。
【請求項８】
前記アンチセンスオリゴヌクレオチドおよび／またはベクターが、外科的切除、化学療法、放射線療法、免疫療法および遺伝子療法からなる群から選択される１つまたは複数の癌療法と組み合わせて使用される、請求項６または７のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項９】
前記腫瘍細胞が神経膠腫細胞である、請求項１、３、４および６～８のいずれか一項に記載の方法又は医薬組成物。
【請求項１０】
前記神経膠腫細胞が神経膠芽腫細胞である、請求項９に記載の方法又は医薬組成物。
【請求項１１】
前記腫瘍細胞が神経膠腫細胞である、請求項２に記載のアンチセンスＲＮＡ。
【請求項１２】
前記神経膠腫細胞が神経膠芽腫細胞である、請求項１１に記載のアンチセンスＲＮＡ。
【請求項１３】
請求項２に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドまたは請求項２に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドをコードするベクターおよび薬学的に許容されるキャリアーを含む、癌の治療のための医薬組成物。
【請求項１４】
前記癌が神経膠腫である、請求項１３に記載の医薬組成物。
【請求項１５】
前記神経膠腫が悪性神経膠芽腫である、請求項１４に記載の医薬組成物。
【請求項１６】
請求項１３～１５のいずれか一項に記載の医薬組成物およびその使用説明書を含むキット。
【請求項１７】
被験体に対する同時投与、分離投与または連続投与のための、神経膠腫の治療および／またはその進行の遅延に好適な第２の活性化合物をさらに含む請求項１６に記載のキット。
【請求項１８】
請求項２に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドまたは請求項２に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドをコードするベクターを含む、神経膠腫の治療のための癌療法の効能を増進するための医薬組成物であって、
該癌療法が同時に、分離して、または連続して投与され、

該癌療法が外科的切除、化学療法、放射線療法、免疫療法および遺伝子療法からなる群から選択されることを含む、医薬組成物。
【請求項１９】
前記神経膠腫が悪性神経膠芽腫である、請求項１８に記載の医薬組成物。
【請求項２０】
配列番号：２、５、６、７、８、９、１０、１４、１５または１６の配列またはその断片もしくは誘導体を有するアンチセンスオリゴヌクレオチドを含む、悪性神経膠細胞浸潤を阻害するための医薬組成物であって、該アンチセンスオリゴヌクレオチドが腫瘍細胞におけるＤＲＲの発現を減少させる、医薬組成物。
【請求項２１】
配列番号：２、５、６、７、８、９、１０、１４、１５もしくは１６の配列またはその断片もしくは誘導体、または腫瘍細胞におけるＤＲＲの発現を減少させるのに好適なアンチセンスオリゴヌクレオチドをコードするＤＮＡを含むＤＮＡ分子を含む、悪性神経膠細胞浸潤を阻害するための医薬組成物。
【請求項２２】
請求項２に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドまたは請求項２に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドをコードするベクターを含む、悪性神経膠細胞浸潤を阻害するための医薬組成物。
【請求項２３】
被験体の神経膠腫細胞におけるＤＲＲ発現を測定して、ＤＲＲ発現が細胞の浸潤性を示すことを含む、被験体における神経膠腫の診断または予後診断のための方法。
【請求項２４】
ＤＲＲタンパク質またはｍＲＮＡを特異的に結合する分子と神経膠腫細胞を接触させること、および細胞におけるＤＲＲタンパク質またはｍＲＮＡレベルを測定して、ＤＲＲを発現する細胞が浸潤性であることを含む、被験体における浸潤性神経膠腫細胞を可視化する方法。
【請求項２５】
ＤＲＲ　ＲＮＡまたはタンパク質について特異的である検出可能に標識されたプローブ、ＤＲＲ　ＲＮＡまたはタンパク質へのプローブの結合を検出するためのレポーター手段、およびその使用説明書を含む、被験体における浸潤性神経膠腫の診断または予後診断のためのキット。
【請求項２６】
ＤＲＲの発現を減少させる治療用核酸分子または治療用核酸分子をコードするＤＮＡもしくはベクターを含む、癌を治療するための医薬組成物。
【請求項２７】
前記癌の進行が遅延される、請求項２７に記載の医薬組成物。
【請求項２８】
悪性細胞浸潤が阻害される、請求項２６または２７のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項２９】
悪性神経膠細胞浸潤が阻害される、請求項２８に記載の医薬組成物。
【請求項３０】
前記癌が神経膠腫、好ましくは悪性神経膠腫、およびより好ましくは神経膠芽腫である、請求項２６～２９のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項３１】
前記治療用核酸分子がアンチセンスオリゴヌクレオチドである、請求項２６～３０のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項３２】
前記治療用核酸分子が、ＤＲＲ　ｍＲＮＡまたはその断片もしくは誘導体に相補的であるかまたは特異的にハイブリダイズする、請求項２６～３１のいずれか一項に記載の医薬

組成物。
【請求項３３】
ＤＲＲ　ｍＲＮＡに相補的であるかまたは特異的にハイブリダイズする治療用核酸分子を腫瘍細胞に提供し、治療用核酸分子が腫瘍細胞におけるＤＲＲの発現を減少させることを含む、腫瘍細胞におけるＤＲＲの発現を減少させる方法。
【請求項３４】
前記治療用核酸分子がアンチセンスオリゴヌクレオチドを含む、請求項３３に記載の方法。
【請求項３５】
前記治療用核酸分子がアルティマーおよびギャップマーの構造を有するアンチセンスオリゴヌクレオチド含みならびに／または修飾されたヌクレオシドもしくはヌクレオチドを含むか、または前記治療用核酸分子がアプタマーを含む、請求項３３または３４のいずれか一項に記載の方法。
【請求項３６】
前記修飾されたヌクレオシドまたはヌクレオチドがＦＡＮＡである、請求項３５に記載の方法。
【請求項３７】
配列番号：２、５、６、７、８、９、１０、１４、１５または１６において記載される配列を有するオリゴヌクレオチド。
【請求項３８】
配列番号：２、５、６、７、８、９、１０、１４、１５または１６において記載される配列を有するオリゴヌクレオチドをコードするＤＮＡ。
【請求項３９】
配列番号：２、５、６、７、８、９、１０、１４、１５または１６において記載される核酸の配列を有するＲＮＡ。
【請求項４０】
請求項３７～３９のいずれか一項に記載のオリゴヌクレオチド、ＤＮＡまたはＲＮＡおよび薬学的に許容されるキャリアーを含む医薬組成物。